

中学校 第1学年 社会科学学習指導案

(内容) 第1学年 世界の諸地域 アジア州 「東南アジアの発展と課題」(4/6時間)

(目標) 東南アジアの国々の輸出額が増加している理由を、外国との関わりや産業の近代化と関連付けて、説明することができる。

過程	学習活動	指導上の留意点	機器等の活用場面
導入 5分	1. 本時のめあてを設定する。	・資料「アジアの主な国から日本への輸出」を用いて、輸出品の種類、輸出元の国、輸出額の変化等を読み取ることで、東南アジアの国々の輸出額が増加していることに気付くことができるようにする。	
	めあて なぜ、東南アジアの国々の輸出額は増えたのだろう。		
展開 35分	2. 輸出品の変化について気付きを出し合う。	・グラフ「タイとマレーシアの輸出品の変化」に示された輸出品の割合や輸出総額の違いに着目して、工業製品や農作物等の輸出額が増加していることに気付くことができるようにする。	Google Jamboard [個に応じた学習] [発表や話し合い]
	3. 工業製品と農作物等の輸出額が増加している根拠を見いだす。	・東南アジアに進出する日本企業の数 の推移やスマトラ島の森林・農地面積の変化を、工業製品と農作物等の生産力向上と関連付けるように促す。	
終末 5分	8. 東南アジアの経済が発展している理由をまとめる。	・中国で学習した経済特区や労働者の賃金の特徴と、東南アジアの実態を比較することで、外国との関わりが様々な国の経済発展の要因になっていることを理解できるようにする。	
	まとめ [工業]豊富な労働力と安い賃金を求めて、アメリカや日本の企業が進出し、工業製品を造っているため、輸出額が増えた。 [農業]プランテーションを大規模に開発し、機械を使って作物をたくさんつくっているため、輸出額が増えた。		